

各 関 係 機 関 の 長 殿

国立国際医療研究センター
理事長 國土 典宏
(公印省略)

国立国際医療研究センター研究所テニュアトラック長(仮称)の公募について

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当センターの運営に当たりましては、日頃よりご指導ご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当センター研究所にテニュアトラック制度を新設予定のため、当該制度に該当される方(テニュアトラック長(仮称))を公募することとなりました。つきましては、関係方面にご周知いただくとともに、貴下職員に適任者がおられましたらご推薦を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名 テニュアトラック長(仮称)
任期付職員基本年俸表 5 号俸相当職員 若干名
2. 任期 令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日までの 5 年間
(着任日は応相談。勤務成績を勘案して部長採用への可否を決定。)
3. 目的 研究に従事しようとする研究者にインセンティブを与えることにより、優れた研究者を発掘し、その者の創造性・先進性を実証する機会を与え、成果をあげた研究者には研究を安定的に実施する職位を提供すること
4. 職務の内容
研究所において次の業務に従事する。
 - (1) NCGMが研究分野とする感染症、肝炎・免疫疾患、糖尿病・代謝疾患等(以下、ミッションという。)に関連する分野における研究、および診断・治療法の開発並びに成果の公表
 - (2) ミッションに関連する分野における研究者等の人材育成
 - (3) その他研究所長が依頼する業務

5. 応募資格

- (1) ミッションに関する豊富な知識・経験と医療に関する高い見識を持ち、当該分野に関連した研究業績および外部研究資金獲得の実績のある者
- (2) 自らの専門性を発揮して質の高い独創的な研究を進展させることができる研究能力を持つ者
- (3) 研究推進のため、部署内外の研究者との連携を円滑に図ることができる能力を有する者
- (4) 博士号（医歯薬理工学系大学院）を有する者
- (5) 当該分野の内容に関して、英語で発表、議論を行うに足る十分な英語力を有する者

6. 任用予定日 令和4年4月1日（応相談）

7. 提出書類

- (1) 履歴書（高等学校卒業以降の学歴、職歴、所属学会（役職）、受賞歴等を記入すること。写真貼付、様式任意。）、学位・免許等（写）
- (2) 主要研究概要（1200字前後）
- (3) 研究業績目録（所定の様式に合わせること）
原著論文、書籍、総説（それぞれ英文、和文）、招待講演、学会発表（国際、国内）、特許（海外、国内）、競争的研究資金の獲得状況などを分類して記載のこと。
なお、論文発表に関しては筆頭著者・連絡著者が分かるように、学会発表に関しては発表者が分かるように、いずれの場合も、すべての著者名・発表者名を記載すること。
研究資金に関しては、事業名、期間、主任・分担の別、配分金額などが分かるように記載すること。（投稿中、申請中のものは含めないこと。）
- (4) 今後5年間の研究方針と抱負（1600字程度）
- (5) 代表的な論文の別刷 5編以内（コピー可）
- (6) 推薦状1通（形式自由）、あるいは照会できる方2名の連絡先

8. 応募締切日

令和3年11月15日（月）（必着）

9. 書類提出方法

応募書類の封筒には「テニュアトラック長応募書類在中」と朱書きのうえ、人事部人事課人事係宛親展とし、書留にて郵送のこと。

10. その他

処遇の詳細については、「国立研究開発法人国立国際医療研究センター職員就業規則」及び「職員給与規程」による。

11. 問い合わせ先・書類提出先

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
国立国際医療研究センター 人事部人事課人事係
TEL 03-3202-7181（代表）

業績目録（記載要領・記載例）

記載要領・記載例

原著論文(英文、和文)、書籍、総説、招待講演、学会発表(英文、和文)、特許など

1 原著論文(英文、和文)

■記載要領

- ①番号(連番)、著者名(全員を記載し、本人にアンダーライン)、題名、誌名、巻、始頁-終頁、発表年を記載。(下記記載例を参照。)
- ②発表年の新しい順に記載。

■記載例 ※必ずしも、このとおりである必要はありません

英文例

1. Aaaa A, Bbbb B, Cccc C, Kokusai T, ○○○○○○○○○ ○○○○ ○○○○○○, △△△△ △△△,
2. ……

和文例

1. 国際太郎、医大和子、医学一郎、○○○○ ○○○○ ○○○○○○、△△△△△ △△△、9、779-781、2007.
2. ……

2 書籍 記載要領・記載例は原著論文に同じ

3 総説 記載要領・記載例は原著論文に同じ

4 招待講演、学会発表(英文、和文)、特許など

■記載要領

- ①特別講演、招へい講演、教育講演、シンポジウム及びワークショップ等の発表のみを記載。ただし、国際学会あるいはそれに準ずる学会での一般発表は記載。
- ②国際学会及びそれに準ずる外国における学会と国内学会に大別し、番号(連番)、発表者名(本人にアンダーライン)、題名、会名、場所、発表年の順に記載。さらに、末尾に特別講演、宿題報告、シンポジウム及びワークショップの別を()書きで記載。(下記記載例を参照。)

■記載例 ※必ずしも、このとおりである必要はありません

英文例

1. Kokusai T, Idai K, ○○○○○○ ○○○○, □□□□□□ symposium, New York, 2007.
2. ……

和文例

1. 国際太郎、○○○○○○○○○○、第○○回日本○○会総会、東京、2007。(シンポジウム)
2. ……

特許

1. 発明者名、発明の名称、特許文献の番号など、公開特許公報等の発行の日付
2. ……

業 績 目 録 (表紙)

氏名: _____

業績のまとめ						
原著論文(英文、和文)、書籍、総説、招待講演、学会発表(英文、和文)、特許など						
1. 原著論文	総数	0	編	英文	総数 うち主筆	編 編
	うち主筆	0	編	和文	総数 うち主筆	編 編
2. 書籍	総数	0	編	英文	総数 うち主筆	編 編
	うち主筆	0	編	和文	総数 うち主筆	編 編
3. 総説	総数	0	編	英文	総数 うち主筆	編 編
	うち主筆	0	編	和文	総数 うち主筆	編 編
4. 招待講演 学会発表 特許など	招待講演等総数	0	回	招待講演等(国外)		回
	学会発表総数	0	回	招待講演等(国内)		回
	特許件数		件	英文(国際学会)		回
	その他		回	和文(国内学会)		回
特記事項						

1 原著論文

1-1 英文原著

- 1.
- 2.

1-2 和文原著

- 1.
- 2.

2 書籍

2-1 英文書籍

- 1.
- 2.

2-2 和文書籍

- 1.
- 2.

3 総説

3-1 英文総説

- 1.
- 2.

3-2 和文総説

- 1.
- 2.

4 招待講演、学会発表(英文、和文)、特許など

4-1 招待講演等(国外)

1.

2.

4-2 招待講演等(国内)

1.

2.

4-3 英文学会発表(国際学会)

1.

2.

4-4 和文学会発表(国内学会)

1.

2.

4-5 特許

1.

2.